

青森県景気ウォッチャー調査

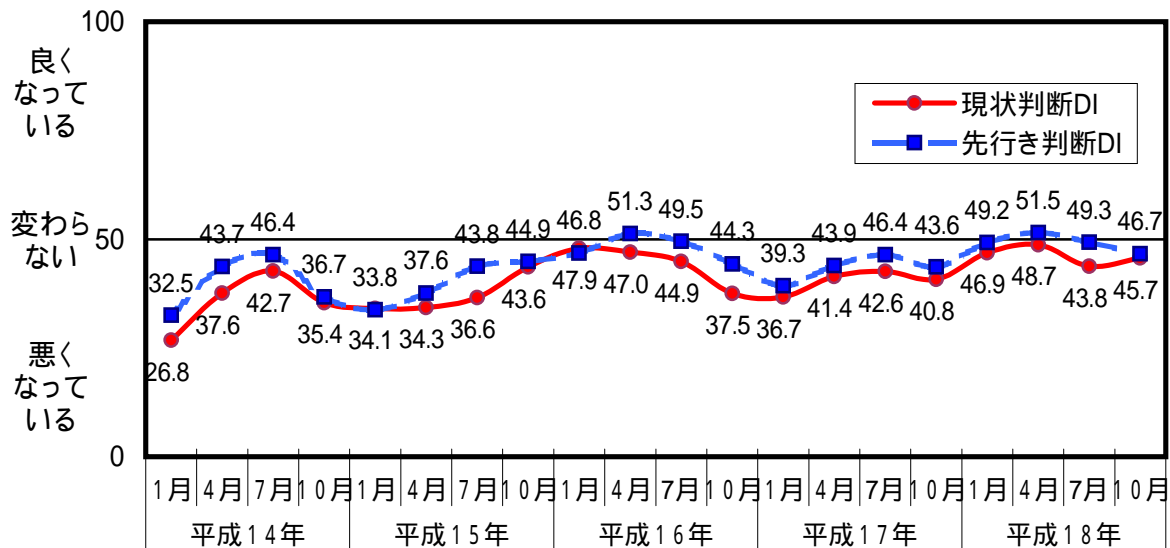
(平成18年10月期)

調査期間 平成18年10月2日～10月19日 回答率98%

概況

10月期は、景気の現状判断DIは上昇したものの、先行き判断DIは2期連続で低下し、いずれも横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成18年11月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9166(直通)又は017-722-1111(内線2188)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が5.3ポイント増加し、「やや悪くなっている」が4.7ポイント減少したことにより、全体では1.9ポイント増の45.7となり、引き続き横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、一部でファッション衣料の売上回復や中央の景気回復の波及効果を受けて仕事量が増大しているという声があったものの、依然として消費者の購買意欲が低いことや企業の求人の動きが鈍いこと、また、原油・原材料価格の影響をあげる声が見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で2.9ポイント、企業関連で4.2ポイント増加したが、雇用関連については14.3ポイントと大きく減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、津軽、県南、下北地区においてポイントが増加したが、東青地区ではポイントが減少し、いずれの地区においても横ばいを示す50を下回った。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「悪くなる」が5.1ポイント増加したことにより、全体では2.6ポイント減の46.7となり、2期連続でポイントが減少し、横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、県内一部地域における地上デジタル放送の開始による需要に期待する声がある一方、原油高に伴う燃料価格の上昇が家計に及ぼす影響を懸念する声が多く見られた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連で1.4ポイント、企業関連で5.6ポイント、雇用関連では7.1ポイントと全ての分野においてポイントが減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、県南、下北地区においてポイントが増加したが、東青、津軽地区においてはポイントが減少した。県南地区で52.6、下北地区において52.5と、2地区において、横ばいを示す50を上回った。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=98

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	40.8	46.9	48.7	43.8	45.7
家計関連	39.7	46.8	47.6	41.3	44.2
小売	41.4	51.7	48.2	40.8	47.5
飲食	43.8	45.5	45.8	35.4	37.5
サービス	34.6	43.0	45.4	41.7	42.3
住宅	45.8	41.7	58.3	54.2	50.0
企業関連	47.2	47.2	54.2	50.0	54.2
雇用関連	35.7	46.4	46.4	53.6	39.3

回答別構成比(%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.2	21.9	23.5	9.0	14.3
変わらない	54.1	52.1	52.0	63.0	61.2
やや悪くなっている	24.5	17.7	20.4	22.0	17.3
悪くなっている	11.2	8.3	4.1	6.0	7.1

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=98

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	43.6	49.2	51.5	49.3	46.7
家計関連	42.8	47.5	50.7	48.7	47.3
小売	41.4	46.6	52.7	50.0	50.0
飲食	39.6	50.0	47.9	43.8	39.6
サービス	46.2	49.0	50.9	49.1	48.1
住宅	41.7	41.7	45.8	50.0	45.0
企業関連	48.6	55.6	56.9	52.8	47.2
雇用関連	39.3	50.0	46.4	46.4	39.3

回答別構成比(%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなる	0.0	1.0	0.0	1.0	1.0
やや良くなる	16.3	20.8	29.6	19.0	17.3
変わらない	50.0	56.3	50.0	58.0	56.1
やや悪くなる	25.5	17.7	17.3	20.0	18.4
悪くなる	8.2	4.2	3.1	2.0	7.1

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=29

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	40.5	48.3	53.3	44.2	41.4
家計関連	39.8	48.9	52.2	42.4	42.0
小売	47.2	61.1	55.6	41.7	47.2
飲食	33.3	50.0	50.0	41.7	41.7
サービス	34.4	34.4	47.2	41.7	36.1
住宅	37.5	50.0	62.5	50.0	50.0
企業関連	43.8	56.3	62.5	50.0	43.8
雇用関連	41.7	33.3	50.0	50.0	33.3

回答別構成比(%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.3	31.0	33.3	10.0	10.3
変わらない	51.7	41.4	50.0	60.0	55.2
やや悪くなっている	27.6	17.2	13.3	26.7	24.1
悪くなっている	10.3	10.3	3.3	3.3	10.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	40.5	47.3	43.1	43.3	47.5
家計関連	38.1	47.5	42.9	40.9	47.7
小売	31.3	43.8	40.6	38.9	52.8
飲食	50.0	50.0	50.0	41.7	50.0
サービス	37.5	53.6	40.6	40.6	40.6
住宅	50.0	37.5	50.0	50.0	50.0
企業関連	50.0	45.8	45.8	45.8	50.0
雇用関連	37.5	50.0	37.5	62.5	37.5

回答別構成比(%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.9	10.7	10.3	6.7	10.0
変わらない	55.2	75.0	62.1	66.7	73.3
やや悪くなっている	31.0	7.1	17.2	20.0	13.3
悪くなっている	6.9	7.1	10.3	6.7	3.3

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	45.8	48.3	48.3	46.7	49.1
家計関連	45.2	48.8	46.3	44.0	45.0
小売	47.2	52.8	43.8	50.0	52.8
飲食	50.0	37.5	33.3	25.0	16.7
サービス	39.3	50.0	50.0	39.3	45.8
住宅	50.0	37.5	62.5	62.5	50.0
企業関連	53.6	42.9	53.6	53.6	60.7
雇用関連	25.0	62.5	50.0	50.0	50.0

回答別構成比(%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	24.1	24.1	13.3	20.7
変わらない	56.7	48.3	44.8	63.3	62.1
やや悪くなっている	20.0	24.1	31.0	20.0	10.3
悪くなっている	6.7	3.4	0.0	3.3	6.9

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	27.5	37.5	52.5	35.0	42.5
家計関連	30.6	36.1	50.0	33.3	38.9
小売	33.3	41.7	58.3	16.7	16.7
飲食	41.7	41.7	50.0	33.3	41.7
サービス	16.7	25.0	41.7	50.0	58.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	50.0	75.0	50.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比(%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	20.0	30.0	0.0	20.0
変わらない	50.0	30.0	50.0	60.0	40.0
やや悪くなっている	10.0	30.0	20.0	20.0	30.0
悪くなっている	40.0	20.0	0.0	20.0	10.0

(2) 3 か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=29

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	43.1	51.7	53.3	50.8	40.5
家計関連	42.0	52.3	52.2	48.9	40.9
小売	47.2	58.3	55.6	55.6	47.2
飲食	50.0	66.7	58.3	41.7	41.7
サービス	34.4	40.6	47.2	47.2	33.3
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0
企業関連	56.3	56.3	68.8	62.5	43.8
雇用関連	33.3	41.7	41.7	50.0	33.3

回答別構成比 (%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなる	0.0	3.4	0.0	3.3	0.0
やや良くなる	10.3	24.1	36.7	20.0	10.3
変わらない	62.1	51.7	43.3	56.7	51.7
やや悪くなる	17.2	17.2	16.7	16.7	27.6
悪くなる	10.3	3.4	3.3	3.3	10.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	44.0	47.3	49.1	46.7	45.0
家計関連	41.7	45.0	48.8	46.6	45.5
小売	34.4	40.6	46.9	41.7	44.4
飲食	33.3	50.0	41.7	58.3	41.7
サービス	53.1	50.0	53.1	46.9	50.0
住宅	37.5	37.5	50.0	50.0	37.5
企業関連	54.2	54.2	50.0	50.0	45.8
雇用関連	37.5	50.0	50.0	37.5	37.5

回答別構成比 (%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	13.8	14.3	24.1	16.7	16.7
変わらない	51.7	64.3	51.7	56.7	53.3
やや悪くなる	31.0	17.9	20.7	23.3	23.3
悪くなる	3.4	3.6	3.4	3.3	6.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	48.3	50.9	51.7	52.5	52.6
家計関連	48.8	47.5	51.3	53.6	53.8
小売	47.2	44.4	56.3	58.3	61.1
飲食	41.7	37.5	50.0	33.3	25.0
サービス	53.6	57.1	50.0	53.6	58.3
住宅	50.0	37.5	37.5	62.5	50.0
企業関連	46.4	57.1	53.6	50.0	50.0
雇用関連	50.0	62.5	50.0	50.0	50.0

回答別構成比 (%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
やや良くなる	26.7	27.6	27.6	26.7	24.1
変わらない	40.0	51.7	51.7	56.7	58.6
やや悪くなる	33.3	17.2	20.7	16.7	6.9
悪くなる	0.0	3.4	0.0	0.0	6.9

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	30.0	42.5	52.5	42.5	52.5
家計関連	33.3	41.7	50.0	41.7	52.8
小売	25.0	33.3	50.0	33.3	41.7
飲食	33.3	41.7	41.7	41.7	50.0
サービス	41.7	50.0	58.3	50.0	66.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	50.0	75.0	50.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	10.0	30.0	0.0	20.0
変わらない	40.0	60.0	60.0	70.0	70.0
やや悪くなる	10.0	20.0	0.0	30.0	10.0
悪くなる	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良い	家計	東青	観光名所等	秋の紅葉シーズンで観光客数は夏季に比べ増えているが、売上は昨年を5～10%下回っている。	
			百貨店	売上高の回復。特にファッション衣料の売上回復が著しい。	
		津軽	スーパー	7月末に五所川原市内の某スーパーが倒産したせいもあって、売上・客単価・客店数がアップしています。ただし、10月初めに、新たなショッピングセンター内にある別のスーパーがオープンするとどうなるか？	
			一般小売店	4～6月が前年比94.9%、7～9月が98.9%で悪いことには変わりはないが、7・8月が非常に悪く、一方9月は過去最高の売上となっているので判断が難しい。	
			県南	家電量販店	パソコンOSが来年頭より変更となり、新たな需要が生まれるため（周辺機器等の）。
		県南	一般小売店	実感はないものの、マスコミでは景気は中期的に悪くはないという発表が多い。一般消費はそれに左右されやすい。	
			観光名所等	昨年に比べて、9月の売上が伸びた。駐車場がガラんとしなくなった。	
		下北	タクシー	前年同月の売上の推移をみていると下降傾向に歯止めがかかってきている。ただし今後も様子を見る必要があります。	
		企業	東青	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き 民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから目立った変化はないと考えられるものの、幾分は改善されよう。
				津軽	広告・デザイン
			県南	経営コンサルタント	雇用の安定。倒産の減少。消費の上向き。
				電気機械製造	東京にある県の企業サポートセンターから仕事の引き合いが多くきている。少なくとも精密加工の分野では中央は相当に忙しいようであり、現状として仕事量に困ることはないから。また、本業の方も仕事量が順調に多くなってきている。
			下北	食料品製造	特に売上増を図るための手段は講じていないが、消費動向は良い感じがする。

現状	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	青森	コンビニ	土日の人の動きは、この辺ではみられない。国道もシーンとしている時もあり、県庁所在地30万人都市とは思えない活力である。
			パチンコ	業績が一向に上向かない。
			衣料専門店	消費者の購買意欲は依然低く「必要な物以外はできるだけ買わない」「バーゲン志向が強い」「少しでもプレミアムのあるセール期間で買う」等、シビアな姿勢が感じられる。
			一般飲食店	8月は天気に恵まれ売上も若干よかったが、9月は暖かすぎて売上が落ち込みました。プラスマイナスゼロ。
			家電量販店	来店客、客単価とも横ばい。
			商店街	8月のねぶた祭り期間中の売上は好調であったが、9月は残暑が厳しく、秋物のファッションが全く振るわなかったことで、帳消しの感がある。
			設計事務所	職種によって、職人が新幹線工事にとられ、集めることが一苦労だと建築現場からの情報です。建築工事は多くないのだが。
			都市型ホテル	10月2日に公表された日本銀行青森支店の県内金融経済概況によれば、「県内の景気は、足踏み状態が続いているが、生産活動や個人消費の一部で持ち直しの兆し...」、同日公表の短観によれば、「非製造業をみると、建設業で工事の受注がみられたほか、運輸、飲食店・宿泊でも利用客は増加している...」当社の場合、売上高の推移及び利用者区数からみて、決して良い方向に向かっていない。また、同業種、同業をみても、むしろ後退している。青森空港利用客、国内線は確実に利用客の減少がみられる(当社空港に出店あり)。
			スナック	悪いことに変わりがないということです。悩みの毎日です。景気が上向きなんて考えられません。
		観光型ホテル・旅館	私どもに関しては、昨年よりもやや良くなっていると思われま	
		津軽	百貨店	アパレル関係(婦人服、紳士服など)が動きが鈍い。気温の影響もあるが、11月・12月の冬型の気温に期待。
			パチンコ	祭り期間等でも帰省する人も少なく、通常の雰囲気のままだった。
			観光型ホテル・旅館	毎年あるスポーツ大会のみで観光客が少ない。
			美容院	農家の繁忙期は暇になる。
スナック	お客様の1単価が安すぎ、客足が少なすぎる。			
衣料専門店	夏あまり暑かったのか、重衣料(スーツ類)の売上伸びず。			

現状	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	津軽	一般飲食店	米・りんごの収穫で農家の人は潤っているが、その影響は大きくない。
			家電量販店	商品の動き、個人の消費の動きがあまり感じられない。
			卸売業	製品の出荷状況をみて。
			商店街	来街者の状況、売上状況からみて景気が改善されているとはいいがたい。地方の景況は依然として厳しいのではないかと思われる。
			旅行代理店	異業種間の景気の格差が感じられる。平均してかわっていないのではないか。
			設計事務所	中央と地方との格差がはっきりと表れている（各種調査資料でも顕著に出ている）。
			都市型ホテル	申し込み時より実際参加人員が減少する宴会が多い現象が続いている。
			コンビニ	定率減税の廃止へ向けての増税が可処分所得を圧迫している。
	県南		乗用車販売	あまり良くない状況が横ばいのように思われる。有効求人倍率が中央と比べて半分以下になっていることと、6ヶ月連続で全国最下位が気になる。
			衣料専門店	4年9ヶ月景気拡大が続いているというニュースが流れましたが、八戸は景気回復の実感はありません。
			美容院	来店回数が減っているのと、サイクルが長くなってきた。
			設計事務所	商店街の方々は皆全然景気が良くなり悪くはないと言っている。私自身は変わらず少し悪い程度。
			百貨店	依然として有効求人倍率が低迷している。金利の上昇、公共料金値上げなどで、景気が上向く要因が見あたらない。
			旅行代理店	有効求人倍率が6ヶ月連続で全国最下位であり、依然として厳しい雇用情勢が続いている。
			商店街	健康保険税の負担増、収入減等々、家計は厳しく、消費に結びついていないと思う。
			タクシー	普段昼夜を問わず街に人が少ない。
コンビニ	お客様の購買行動から見て、必要な物＝目的買いが多く目立つ。プラス的な訴求は店でしているのだが、変化はみられないため。			

現状	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	県南	卸売業	都市部と地方の格差が感じられる。県内は数字（売上等）からもほとんど変わらず良くなっていることが肌で感じられない。
			住宅建設販売	住宅ローン金利上昇により、駆け込み需要が見込めるかと思っただが、それほどでもない。
		下北	レストラン	母子家庭で仕事はパートとバイトの掛け持ち、生活はギリギリ、国保税が高く払えないとの声。
			一般飲食店	景気が良くなならない、悪いのが続いているから変わらない。
			ガソリンスタンド	特に変化が感じられないため。
		企業	東青	広告・デザイン
	津軽			飲料品製造
	津軽		経営コンサルタント	会社の収益が増加している会社がなく、一時的に夏場で増えたところも、9月以後減少している。
			食料品製造	ニュースでは、いざなぎ景気どうのこうのと言っているが、全く景気がいいとは感じられない。
			県南	建設
紙・パルプ製造	原燃料（パルプ、石油加工品等）価格上昇と為替の円安傾向により、コストダウン効果が相殺されている。			
飲料品製造	神奈川県横浜で驚いた。ドイツフェアとかで一杯1700円のドイツビール大ジョッキが馬鹿売れ。当地八戸では800円飲み放題でも閑古鳥が鳴いているというのに。			
雇用	東青		新聞社求人広告	相変わらず地元企業の広告出稿意欲が弱く、中央のメーカー等のトラブルによる告知広告に支えられている感がある。
		人材派遣	派遣人員は3ヶ月前と比べ変わっていない。潜在的需要はまだまだ多いはずであるが、動きは鈍い。	
	津軽	人材派遣	事業所の求人状況は一進一退が続いている。内容も前回調査時期同様、非正規雇用がほとんど。	
	県南	新聞社求人広告	ハウス会社の見学会開催の告知広告が増えてきたが、小売業、不動産（土地）関連が長期低迷となっている。	

現状	分野	地区	業種	理由	
やや悪い	家計	東青	スーパー	客単価の下降傾向。下げ止まりせず。	
			レストラン	中心地に人が集まらなくなっているのでは。逆に郊外にショッピングセンターなどができて、人の流れが変わっている。	
			美容院	高料金の技術を希望するお客様が減少している。	
			旅行代理店	取扱高がほとんどの企業で前年を割っている。	
		津軽	タクシー	石油の値上がりの影響がピークに達していて、3ヶ月前より悪化している。	
		県南	スーパー	余計な物は買わない、日替わりの安い商品しか買わないお客様が多い。	
			一般飲食店	往來の減少・季節の変わり目等の要因や、安価なお店がどうも人気があるようだ（昼は特にその傾向が大）。客単価の低下も大きな要因ではないか。	
			スナック	3ヶ月前と比べて良くない。飲食業は見当がつかない。	
		下北	スーパー	お客様の買い上げ点数が減少、1品単価もさらに減少している。	
			一般小売店	以前はシーズン終わりに商品を値下げすれば大半は売り切れたが、大幅に値下げしても必要なくなる（もうすぐ寒くなるから等）からいらなくなると言われてしまいます。必要なとき、必要な分だけと無駄な買い物はしないみたいです。	
			スナック	人通りも少なく店を閉じているのが多い。	
		企業	東青	食料品製造	原油高による原料資材のコストアップの影響が現れている。
				経営コンサルタント	建設業は受注、利益とも苦しい状況が続いている。運送業の一部に回復も見られるが利益が伴わない。全般は横ばいからやや悪いと見る。
津軽	電気機械製造		オリンピック、ワールドカップへ向けて増えてきた受注が、それらの終了とともに徐々に減少しているから。		
雇用	津軽	新聞社求人広告	小規模企業(商店)主らとの情報交換でも、景気の悪さは深刻。		
悪い	家計	東青	競輪場	売上、入場者共に下降状態が長く続いている。維持していくのに苦労している。	
			タクシー	対前年比、10年ほど前よりいずれもマイナスの右下がりが続き止まらぬ状況下にあり、止める手だてがない。	

現状	分野	地区	業種	理由
悪い	家計	津軽	ガソリンスタンド	大型倒産が続き（土木・運送業）、まだまだあるのではないかと不安が広がっている。
		県南	レストラン	中央と地方青森（八戸）との格差が全体にひらきすぎて大問題と思います。
			観光型ホテル・旅館	値下げ依頼が多い。
		下北	コンビニ	毎年秋は良くないが、今年は特に良くない。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良い	家計	県南	家電量販店	地上デジタル放送が県南地区で2007年より開始するため。大型TVの伸びる可能性が大きい。
やや良い	家計	東青	百貨店	ここ半年ほど、売上高が回復している。特に中央でのこの傾向は1年ほど続いていることから、まだ継続する。
			津軽	都市型ホテル
		美容院	豊作予想だから。	
		一般小売店	思うというよりは、願望で良くなって欲しいということです。	
		観光型ホテル・旅館	新年会に引き続き剣道大会と大型のスキー大会があり、一時的ではあるが、やや良くなると思う。	
		県南	乗用車販売	新内閣が発足し、地方にも目を向けてくれることを期待すると同時に、中央とのタイムラグが遅れてやってくることを信じている。
		美容院	新政権の効果と年末へ向かっての期待。今まで我慢していた反動があると思う。	
		観光名所等	台風もなく、収穫に恵まれそうだ。子ども連れの若いお客様が増えた。行楽シーズンなので、お客様が寄ってくれそうだ。	
		一般小売店	原油の不安が少し回復しているということと、新内閣に対する少しの期待感。	
		下北	タクシー	原油高騰でむつ市経済全体にも悪影響が考えられる中でも、いくらか売上に明るさがみられます。都市の好景気が波及しているとも考えられます。
	都市型ホテル	最近大間町のまぐろのドラマ化、取材等が増えているようです。その流れで宿泊等も増加すればいいなぁと期待を含めまして。		
	企業	東青	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需の減少が続き 民需は競争による収益低迷 - という構造的要因が大きく作用するから目立った変化はないと考えられるものの、幾分は改善されよう。
		県南	電気機械製造	中央の人手不足は数年は続くと考えており、だんだん青森にも仕事が入ってくると思われる。事業拡大と人材育成のチャンスだと思います。
	県南	経営コンサルタント	大企業の設備投資の拡大。雇用の拡大。	

先行き	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	青東	一般飲食店	お天気次第と思います。
			パチンコ	景気が上向く環境にない。
			衣料専門店	政策面で「増税」「社会保険料の値上げ」「医療費の負担増」等、生活者の負担増ばかりが目立ちます。将来の生活への「安心」が少しでも感じられる様な政策が必要だ。
			家電量販店	冬物季節商品で一時的に伸びるが、基盤が脆弱なため、力強さに欠ける。
			商店街	全国的な傾向とかけ離れて、地方経済はあいかわらず低迷しており、際立って上向きにむかうことは考えられない。
			スナック	全くわかりません。12月に期待するのみです。同業者の方達は必死に何かと頑張っているみたいですが・・・。
			都市型ホテル	中央の一部業種よりみて景気回復の期待感もあるが、燃料費高騰等により収益減少傾向。当ホテル利用も相変わらず小規模化が進んでいる。今後の利用客増加見込みもまったくない。
			ガソリンスタンド	年金問題など、将来への不安が解消されない限り、消費者心理は上向かない。
			設計事務所	年度内の仕事でこの状態が続くと思われる。
	津軽		百貨店	アパレルの中で重衣料（コート、ジャケット、スーツなど）が動くが景気状況に影響。
			パチンコ	良くなりそうな活気は感じられないものの、年末に向けて消費の拡大に期待したい。
			観光名所等	行政施設突出の看板、パンフレット。
			衣料専門店	慢性的な不況感。
			家電量販店	冬物商品（ストーブ等）の動きを見ても、景気回復の気配が感じられない。
			商店街	秋から冬にかけて集客イベントもなく、景気回復への好条件が見当たらないことから、引き続き苦しい状態が続くものと思われる。
			スナック	ほとんど予約がないし、先の見通しがつかないです。
			設計事務所	依然として物件の少なさ、また、地方に対しての好条件がない。

先行き	分野	地区	業種	理由
どちらとも言えない	家計	津軽	旅行代理店	冬期間へ向かっての公共的な仕事はあるかもしれないが、民間、それも地元の受注できる仕事あまり聞こえてこない。
		県南	衣料専門店	衣料は天候不順の影響を受けやすい。コートなどの季節商品で回復の兆しをつかめるとよいのですが。
			タクシー	石油の値段は落ち着いたようではあるが高い。新卒者の就職があまりよくない。いろいろな保険等の引き上げを皆さん警戒している。
			設計事務所	中央と地方では違うと思う。行政の景気対策がなければ地方は良くならない。
			スーパー	灯油代の価格が景気を左右しそうである。食品を削ってくると思う。
			旅行代理店	まだ、原油高の高止まり状態が続いており、地方の景気好転にとってはマイナス要因になると思われる。
			一般飲食店	市中心街においても、何かの活性策をとらなければ、客の増があり得そうにもない。明るい話題についても特にありそうもなく、逆に心配な話題が目につく。
			観光型ホテル・旅館	冬の十和田湖は非常にきびしい。
			住宅建設販売	原油値上がりは今後も続くと思われ、各方面にマイナスの影響がある。
			百貨店	依然として有効求人倍率が低迷している。金利の上昇、公共料金値上げなどで、景気が上向く要因が見あたらない。さらに天候不順が続く今後も客数増の見通しは立てられない状況。
			コンビニ	新内閣発足により、政治的な部分からの変化・変革（就職・リストラ問題・消費税等）がないと、今後の景気回復は見込めない。
			卸売業	石油高騰により、資材等の値上げが出ており、厳しい状況が続くと思われる。コスト削減にも限界がある。
			商店街	これから迎える冬の暖房費への備え、冬本番に向けての暖房費の支出増で、ますます消費は低迷すると思う。
		下北	スーパー	好転材料が見あたらない。
レストラン	クーポン券、割引券の利用者が増えてきている。不景気なんでしょうね。			

先行き	分野	地区	業種	理由	
どちらとも言えない	家計	下北	一般飲食店	よくなる材料が何もないからです。50年も店をやっていて、今みたいな先が見えないのは初めてです。	
			ガソリンスタンド	特に良くなる要素があるとは感じられないため。	
			コンビニ	雪が降りだす。	
	企業	東青	津軽	広告・デザイン	雇用率が上向かない。広告業界が冷えているため。
				経営コンサルタント	津軽は11月までのりんごの収穫次第で景気に対する影響が大きいので、11月過ぎまでは分からない。
		県南	下北	食料品製造	これから冬を迎えて、灯油やガソリン石油製品の値段がどのように影響するのか、大変気になるところです。
				広告・デザイン	年末から年度末までの仕事量は公共工事投資の減少に関連し良くなる要素なし。悪くならなければよいが。
				飲料品製造	自身ではよくなってほしい。
				飲料品製造	いざなぎ景気を超える長期の好景気とニュースは報じているが、当社の主要得意先である飲食業のパイは縮小し続けてはや5年です。
				紙・パルプ製造	原燃料価格高騰の一方、今秋に人事制度改定（実質的には賃下げ）を実施する等、コストアップ圧力をおさえるために、ありとあらゆる努力をしている。
		雇用	東青	人材派遣	本県の産業基盤は弱く、当面回復基調は望めない。派遣業務そのものは、上昇傾向にあると思われるが、急激な変動はないとみる。
				新聞社求人広告	処々に対策は講じているつもりだが、求人広告の不振など、先が読めないのが現状だ。
	やや悪い	家計	東青	コンビニ	青森は冬の季節に入り、ますます、とじこもりの生活になります。市議選を控えています、これといって良い話は聞こえてきません。
スーパー				灯油・重油・ガソリン代の上昇による原価・物価の値上げ。消費マインドはもっと下がる。	
レストラン				中心地に人が集まらなくなっているのでは。逆に郊外にショッピングセンターなどができて、人の流れが変わっている。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪い	家計	東青	観光型ホテル・旅館	冬期間になりますと、オフシーズンで客足が減少する。また、ただ今の原油高によるコストアップがどのようになるか心配。	
			旅行代理店	新規顧客見込めず、現状維持だけで精一杯のところが多い。	
			美容院	メディア等で景気が上向いていると言うことに疑いをもっている。	
		津軽	タクシー	景気好転の兆しが依然見られない。	
			一般飲食店	これから寒くなると灯油代・除雪代がかかり、他の物への消費は少なくなると思われる。	
			コンビニ	定率減税の廃止へ向けての増税が可処分所得を圧迫している。	
		県南	下北	一般小売店	ガソリン、灯油の高値が家計に響くのは目に見えております。寒くなっていけば、家計における灯油代の占める割合が増え、食料品・衣料品等の消費が減ると思われます。
			スナック	夜はほとんどお客が店に来ない。このままだとつぶれてしまいます。	
		企業	東青	食料品製造	これから気温が下がり、灯油の需要期になるが、価格が高騰した分、その他の消費を抑えるのではないのでしょうか。
				経営コンサルタント	年末商戦に期待したいが多くの望めないと見ている。冬期を迎え石油の高止まりがすべての業種に影響してくると見られる。県の基幹産業の一つである建設業の低迷が他にも影響を与えてきている。
津軽	電気機械製造		好調を続けてきた自動車業界では大手自動車メーカーのリコール、また大手電化製品メーカーのバッテリーの発火によるリコールなど悪影響を及ぼす要因ばかりが目立っているから。		
県南	建設		政権が変わったが、公共工事が急に増加するとは考えにくく、来年度はボトムになると言われていることから。		
悪い	家計	東青	競輪場	これから冬に向かって一步一步近づくにつれ一般家庭など出費が続き、また消費税やら値上げが何%になるか等、先行き不透明で良くなるとは思えない。	
			タクシー	自家用車（軽自動車）保有率アップ。レンタカーの利用が繁忙期（5月、8月）に目立っている。官公庁のタクシー利用減が止まらない。	
		津軽	ガソリンスタンド	原油の高騰の影響が冬の灯油（暖房）価格に悪影響を与えよう。	

先行き	分野	地区	業種	理由
悪い	家計	津軽	卸売業	当社は建設業界の比重が大きく今後も回復する見込みが薄い ため。
		県南	レストラン	中央と地方青森（八戸）との格差が全体にひらきすぎて大問題 と思います。
	企業	県南	食料品製造	イカの水揚げが大幅に減少しており、そのため原料高となっ ているが、その分を製品単価にのせきれていない。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=98

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	24.2	33.3	34.2	32.0	32.9
家計関連	23.6	33.5	34.9	31.3	32.9
小売	25.0	36.2	42.0	32.5	39.2
飲食	18.8	36.4	29.2	29.2	27.1
サービス	24.0	29.0	32.4	31.5	26.9
住宅	25.0	33.3	25.0	29.2	40.0
企業関連	26.4	31.9	34.7	34.7	34.7
雇用関連	25.0	35.7	25.0	32.1	28.6

回答別構成比 (%)

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
やや良い	3.1	11.5	10.2	5.0	3.1
どちらとも言えない	26.5	34.4	38.8	42.0	42.9
やや悪い	34.7	30.2	28.6	29.0	32.7
悪い	35.7	24.0	22.4	24.0	20.4

地区別 D I

	平成17年 10月	平成18年 1月	平成18年 4月	平成18年 7月	平成18年 10月
合 計	24.2	33.3	34.2	32.0	32.9
東青	22.4	34.5	35.0	35.8	27.6
津軽	25.9	33.0	33.6	30.0	35.8
県南	27.5	36.2	34.5	33.3	37.1
下北	15.0	22.5	32.5	22.5	27.5

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	市の文化施設が改装のため閉まっているため、近くの飲食店もかなり影響を受けているようです。早く工事が終わり、たくさんのイベントがあることを期待しています。
		百貨店	紳士服が良い。クールビズも昨年は商品の準備ができていなかったが、今年は1年間の準備期間があった。
		衣料専門店	最近の顕著な傾向は「飲食店の閉店」が目につきます。ラーメン店(3店)、レストラン(2店)、中華レストラン(1店)等。回転の早いこの種の業界は、今の経済の悪化の象徴だ。
		家電量販店	ここ1~2年、ホームセンターの出店が続き、競争は一段と熾烈になっている。
		商店街	ねぶた祭りアンケートを実施したところ、対前年比で売上が「良かった」という意見が「悪かった」を上回るなど、人出の増加に比例した結果が出ました。
		スナック	景気が良くなっていない、悪いということは不景気ですよね。金は天下のまわりものですが、まわってこない私達の痛みなんて国会議員の先生方、何人わかっているのでしょうか。銀行に行ったことはないと思います。苦しみ、痛みなんてわかるはずないです。
		都市型ホテル	新幹線の新青森開業を目前に控え、これの対応に確かに言葉では期待感もあるようだが、現実の一部ホテル(ビジネス)建設もみられるが、これらに対抗する意識をまったく感じられない。また、地元観光を活性化させるべき、PR・ブランド力の向上等強化するべく、業界・行政が早く立ち上がるべきだ。早い観光振興するべき団結力が欲しい。
		旅行代理店	またぞろ大型店・ショッピングセンター等の話が持ち上がっており、中小はもっともっと厳しくなる。
		タクシー	医療費の負担増等により、高齢者の病院通いが目に見えて減少しているのがわかる。
		美容院	仕事の内容や時間が正職員並みなのに、パート・アルバイトでの仕事をしている人が多すぎる。
	津軽	百貨店	良い商品、ブランド商品などの高額商品が数少ないが動きはあります。
		一般小売店	青森市のコンパクトシティ志向の傾向が弘前にも波及してほしい。実際マンションは街中に増えてきているので良い傾向にある。

分野	地区	業種	自由意見
家計	津軽	商店街	弘前市中土手町の中心的ショッピングモールがリニューアルオープンする事は、当商店街にとって大きな刺激となり、集客面においても少しは改善される事が期待できる。
		一般飲食店	弘前市出身アーティストの展示会に県内外からたくさんのお客様がみえ、その影響は大きい。
		レストラン	会議、学会等があるときは忙しい。観光客が少し動いている。
		観光型ホテル・旅館	組合の会合が毎月開かれているが新入会者はないが脱会者は後を絶たない。忘年会の申し込みが去年より早めに入っている（ちょっと明るい気分です）。
		都市型ホテル	全国規模の医学学会が9月、10月と続き、宿泊部門が好調だ。飲食街にも流れている。
		旅行代理店	大型店の店内またはごく近い郊外への出店がみられる。
		ガソリンスタンド	青森県の人口があと30年もしないうちに100万人をきるというのに、郊外に大規模店舗、住宅造成など無意味な都市計画はやめてほしい。
		設計事務所	建築関連が一番悪い状況に思われる。
	県南	百貨店	原油高の影響で仕入れ価格にも変化あり。来店客の動向もできるだけ支出を抑えたいという意識が見られる。
		乗用車販売	飲酒で事件・事故が多いせいか、運転代行業者に聞くと、仕事がなく暇だそうです。飲みに出る人が少ないのではないかと思います。
		衣料専門店	相変わらず空き店舗が増えているようです。八戸市内の活性化のために店舗の賃貸料をできるだけ安くして商売しやすいようにしてみたらどうでしょうか。
		一般小売店	八戸市の金属製品製造会社が過去最高の経常利益をあげたと新聞報道された。しばらくぶりに明るいニュースである。
		一般飲食店	このような状態では、民だけでは難しく、やはり、官と民と大学との知恵を出し現状打破を願う。
		レストラン	特に地方の中小企業に対する支援が全てに弱いため景気がよくなる！特別対策が必要。
		スナック	政府の方では景気が上向きだと言っていますが、まだ青森まで来ないと思います。
観光名所等	道路工事が結構盛んになってきた。景気回復につながればいいと思う。		

分野	地区	業種	自由意見	
家計	県南	タクシー	市内タクシー4社のポイントカード等の廃止により、各会社別のタクシーの選り好みはしなくなってきたのは非常によい。少しは期待できるのではないだろうか！	
		美容院	街中の事業所は、ストリートフェスティバル（歩行者天国）などで人が集まっても全然売上増に関係なく、遊びに来る人ばかり。買い物は車で郊外店という型です。	
		ガソリンスタンド	石油製品の値上げで、影響が各所にでている。	
	下北	一般飲食店	都会の方は何だかすごく良いようですが、こちらは全く良くなる様子がありません。あまりにも格差がありすぎだと思います。これも政治の大きな焦点だと思います。	
		レストラン	新総理に期待します。介護保険料が高い、医療費の負担に苦しんでいる、仕事が見つからない、という方が増えている。	
		スナック	客単価が下がってきた。	
		タクシー	石油高騰の影響でしょうか。下北地方では原発の本着工が見えてきました。むつ市の経済には大きく好影響があると思うので期待しています。	
		ガソリンスタンド	原油の高騰、特に灯油の値上がりによる家計の圧迫が気になる。	
	企業	東青	食料品製造	近所でも宅地造成が進み、次々と売れているようです。住宅の建築に関しては、活発になってきていると感じます。
		津軽	食料品製造	市郊外に大型ショッピングセンターの工事が急ピッチで進んでいますが、静かな住宅街がどんどん変貌しています。近くの商店街がどうなるのか、商圈が変わって市中心街が心配です。
電気機械製造			原材料、特に銅の高騰により利益が全くでない製品なども出始めている。	
建設			同業者の倒産があり、不安だ。これからどうなるか、いよいよ寒さも始まり、灯油の値段でまた不安。いいことないかな？	
経営コンサルタント			青森県は観光がひとつの産業の柱だが、今の季節のわら焼きは、観光客に対する印象を悪くするばかりか、農産物の安全性にも悪影響だ。	
広告・デザイン			ハローワークから来春の高卒者に対する採用依頼で担当者の企業訪問があったが、さらなる人員削減の検討をしている今、中小規模企業は未だそれに応えられる状況にないのでは。	
県南		飲料品製造	経営の失敗をも不況のせいにして、雇用に手を付け始めているように思える。	

分野	地区	業種	自由意見
企業	県南	紙・パルプ製造	製紙業界は今夏のTOB騒動で大増設による今後の供給能力過剰が広く知れ渡ることになったが、TOB失敗の結末がさらなる増設となった。来年以降に向けて、より一層のコストダウンを実施しなければならない状況になった。
		電気機械製造	青森県内、特に津軽の方には製造業ですばらしい成果をあげている会社が多いことを各種の冊子や広報で知った。先進的な取り組みをされているこれらの方々を中心にまとまることで、青森県内の製造業が発展していければ良いと考える。県には中長期的な根のしっかりした施策を多数実施してバックアップに努めてもらいたい。
		建設	建設関連業種である鉄筋、型枠基礎（杭打ち）工の不足が目立っており、一部工事の進捗に影響を与えている。東京・仙台方面での工事、新幹線工事等についていることが要因のようだ。
		経営コンサルタント	大企業と中小企業、中央と地方、業種間の格差拡大。
雇用	東青	人材派遣	県立美術館の目玉であるシャガール展も終わり、今後の企画にもよるが、どれだけ入館者を確保できるか、今から懸念される。
	津軽	人材派遣	昨年中頃より日本株価も着実に上昇し、そろそろ当地区でも景気回復を実感できそうなものだが、可処分所得がここ数年あまり増加していない。かろうじて上昇した賃金も、厚生年金や所得税負担増等で差し引き手取額減少というありさま。これでは当地区での景気回復は遅れ、中央との格差はますます広がる一方。昨今、よく日本景気回復が言われていますが、ほとんど感じられない。青森県の産業構造の問題でしょうか。